

はじめに



平成 12 年版千葉県環境白書をここに公表します。

本書は、本県の環境の現状や環境保全に関する施策の実施状況を平成 11 年度を中心に取りまとめたもので、昭和 46 年 1 月の創刊以来、第 31 回目の白書となります。

今日の環境問題は、自動車排出ガスによる大気汚染、生活排水による水質汚濁、廃棄物処理に関わるダイオキシン問題など、大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会経済活動を背景に複雑多様化・深刻化しています。

また、CO₂等の増加を要因とする地球の温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨といった地球規模の環境問題も顕在化し、その適切な対応が求められています。

このような中で本県では、「千葉県環境基本計画」に基づき、各種環境汚染への対策、良好な自然環境の確保、廃棄物対策の推進、地球環境の保全等の施策を積極的に展開しております。

さらに、平成 11 年度には資源循環型社会を基本理念とする「ちば21ごみゼロプラン」を、平成 12 年度には「千葉県地球温暖化防止計画」を策定し、地球の温暖化防止対策を推進しています。

環境問題の解決に向けては、私たちの日常生活それ自体が環境への負荷を伴うという認識の下、県民一人ひとりが常に環境に関心を持ち、環境保全のための具体的な行動を起こしていくことが強く求められています。

したがって、環境保全に対する県民意識の高揚を図ることが重要であるという観点から、「千葉県環境学習基本方針」に基づき、環境問題を自ら学び学習することができる機会づくり・教材づくり・指導者づくり・拠点づくりをキーワードに様々な環境学習を推進しているところです。

この白書を通じて、21 世紀を、明るい未来を実現する「環境の世紀」とするため、県の施策に対する理解を一層深めていただければ幸いです。

平成 13 年 1 月

千葉県知事 沼田 武